

## 令和2年度 事業計画(案)

2019年11月以降、中国湖北省武漢市を中心に発生し、2020年1月には国内では初の感染確認があり、短期間で世界中に広がった新型コロナウイルス感染症は、未だ収束が見えてこない状況で、全国各地においても多数の感染者や死者が増え続けているなど日々報じられております。

北海道においては、2月28日に北海道緊急事態宣言を発表し、また4月12日には、第2波としての感染拡大の危機を早期に収束させるために、北海道・札幌市緊急共同宣言し、4月17日には、新型コロナウイルス感染防止拡大のための北海道における緊急事態措置を決定し、事業者の皆様には休業等や感染リスクを低減する自主的な取り組みの実施等を要請しております。経済支援事業としては、各省庁や関係機関などによる給付金や支援金など支給の対応をしているところではありますが、やはり、東京オリンピック・パラリンピックの開催延期や道内各地におけるまつり・イベント等の中止なども含め、その影響は大きく、町内においても土産店や飲食店やホテル業をはじめ、観光関連業界の皆様におかれましても、閉店やキャンセル等による影響があり、非常に厳しい状況が続いております。事態終息後には、即効性のある官民一体となったキャンペーン等は急務であり、ピンチをチャンスに変えるような事業展開が求められております。その中でも今後、東京オリンピック・パラリンピック2020や体験型観光アドベンチャートラベルワールドサミット(ATWS)2021の開催など北海道における追い風となるビッグイベントの予定もあり、更らに交流人口の増加に繋がるような取り組みを期待しております。

2018年度の北海道における観光客入込客数は、北海道胆振東部地震の影響もあり、前年度実績を下回りましたが、2019年度では、史上初めて3,120千人と大きく増加し、過去最高を記録しました。2020年度は、5,000千人の目標を掲げ、その目標達成には受入環境整備や二次交通の整備促進、観光消費額の拡大など戦略的なプロモーション活動を積極的に行い、北海道観光を盛り上げるために取り組んで行かなければなりません。

白老町の観光では、大変残念ではありますが「民族共生象徴空間(ウポポイ)」の開設が当面延期と発表されました。当協会としては、来たるオープンに向けて白老駅北観光商業ゾーン(ポロトミンタラ)や各種収益事業等の準備をし、アイヌ文化を含む魅力をトータル的に情報発信と地域の「稼ぐ力」の創出を目指していきます。

このことから、本年度において、次の事業を重点目標として取り組みをいたします。

- 観光地域づくり法人(地域DMO)の本登録の実現に向けた多様な関係者との合意形成、専門人材の確保、データに基づく明確なコンセプトに基づいた戦略、その整合性に関する調整や仕組み作り、近隣市町村の広域連携や独自のプロモーション活動を展開していきます。
- 白老駅北観光商業ゾーン(ポロトミンタラ)における指定管理業務を含めた自主事業や大型バス駐車場など新たな収益事業をはじめ、従来より行っている各種収益事業も含めて積極的に展開し、安定的な運営資金の確保を目指すとともに、ウポポイや地域との相乗効果を図り観光振興に努力していきます。

●旅行業の登録申請を目指すために、近隣の市町村等先進地を調査しながら、登録の要件でもある営業保証金や基準資産の確保を踏まえ、来年度以降の本格的な登録を目指し、今後は白老発の着地型旅行商品企画の造成をはじめ、体験メニューの構築、旅行等に関するサービスの提供などのコンシェルジュ機能確立及び情報発信の拠点となるよう努力をしていきます。

●新型コロナウイルス対応緊急経済対策として、観光に特化した中で短・中期的な支援策に対し、白老町及び関係団体と連携を図りながら、地域の観光消費の回復を目指す効果的な事業を展開していきます。また、地域における夜間・早朝の活用による新たな時間市場の創出及び受入環境整備等を含めた新たな観光振興資源の活性化を図ることができる事業等を検討していきます。

【個別事業の概要】

1. 広告宣伝事業

新聞や各種の情報誌等の媒体を通じ、白老町の国内での知名度を高めるための事業展開を積極的に図るとともに、白老町特有の観光資源の視覚的魅力を訴求するためにも、北海道観光振興機構等による事業への協賛及び独自広告宣伝物の作製、SNS等を活用した情報発信を推進します。

◇取り組みの事業概要

○新聞・雑誌広告	250,000円
○旅行情報誌掲載事業	200,000円
○各種観光事業集客広告事業	100,000円
○誘導案内看板管理事業	133,000円
○インターネット事業	80,000円
○ホームページ・SNSサイト管理事業（しらおいナビ）	600,000円

2. 誘客事業

北海道観光振興機構、北海道登別洞爺広域観光圏協議会、登別市白老町観光連絡協議会等が行う誘客事業に協賛して白老町への誘客を促進するとともに、白老観光協会が独自に主催する共同誘致キャンペーンによる誘客促進と各事業者のホスピタリティ醸成等の受入体制の整備、ウポポイ開業後における観光客のV字回復を目指した対策事業が図れるような誘客活動を推進します。

◇取り組みの事業概要

○観光客・修学旅行誘客活動事業	250,000円
○虎杖浜温泉観光活性化事業	1,000,000円

3. 会員指導育成事業

会員と白老観光協会を結ぶ情報手段として会報「かんこう白老」発行を行い情報発信を図ります。

◇取り組みの事業概要

○会報発行「かんこう白老」（年1回）	10,000円
--------------------	---------

4. まつり・イベント事業への協賛

町内外から多くの人を集める「まつり・イベント」は、情報発信の貴重な機会であることから、各まつり・イベントへ協賛し、白老駅北観光商業ゾーンにおいて観光インフォメーションセンター内にて新しい情報等を案内するとともに町内の各施設へ誘導するための事業を推進します。

◇取り組みの事業概要

○第31回白老牛肉まつり（中止）	6月	
○第16回源泉かけ流し全国温泉サミット in 白老虎杖浜温泉（中止）	7月	1,300,000円
○第9回虎杖浜かにたらこ温泉三大まつり（中止）	8月	
○2020 BikeJIN祭り in 北海道@白老	9月	200,000円
○第43回登別漁港まつり	9月	
○第32回しらおいチェブ祭	9月	

5. 収益事業管理

民族共生象徴空間（ウポポイ）への来訪者に対する利便性を高める便宜供与のために、公益法人を補完する新たな収益事業の構築を中心とした事業を行います。また、地域コーディネート機能の役割を中心とし職業体験や白老ねっと商店等販売を推進しながら収益金の一部を一般会計へ繰り入れし、公益事業の拡大を図るために、効率的な運営を図ります。

◇取り組みの事業概要

○白老ふるさと2000年の森管理業務（指定管理者5カ年）	10,554,000円
○自転車・カヌー貸付事業	30,000円
○ポロト売店・自動販売機設置事業	55,000円
○ワカサギ釣り事業	977,000円
○白老ねっと商店事業（インターネット販売）・ 白老町ふるさとGENKI応援寄附金事業（ふるさと納税）	70,000円
○コーディネーター事業（職業体験・鮭遡上見学等）	10,000円

6. 駅北観光商業ゾーン・観光大型バス駐車場事業管理

民族共生象徴空間（ウポポイ）との相乗効果を図りながら、回遊性の向上を目指す拠点施設として、観光インフォメーションセンターの管理業務を取り組み、観光情報等や広域観光特産品販売等を展開し、地域の活性化に繋がるような事業を行い、更には安定的な観光大型バス駐車場事業を財源の基盤として、自主事業の拡大及び充実を図るために、積極的な運営を図ります。

◇取り組みの事業概要

○白老駅北観光商業ゾーン管理業務（指定管理者3カ年）	71,683,000円
○観光大型バス駐車場事業	14,044,000円
○手ぶら観光（手荷物一時預かり）・コインロッカー設置事業	100,000円
○白老駅舎管理事業	3,878,000円

7. 日本版（地域）DMOの本登録に向けた取り組み

本町の観光による地域づくりを推進するために日本版DMOの本登録に向けた基礎的な役割・機能（観光地域マーケティング・マネジメント）を含めた登録要件を目指すとともに、関係団体との合意形成を有効的に行いながら、地域DMOを中核とした自主的な「稼ぐ力」の創出を図ります。

◇主な会議の概要

○白老まちづくりDMO戦略協議会（4ヶ月1回開催）
---------------------------

8. そ の 他

◇取り組みの事業概要

○観光資源推進活動調査費 30,000 円

○白老バーガー&ベーグル研究会

○白老レンタサイクル運営協議会（シラヴェロ）

9. 会 議 等

◇主な会議の概要 ○通 常 総 会 ○三 役 会

○理 事 会 ○専 門 委 員 会 ○各所属団体会議